

2025年度総務省インターンシップ 実習課題一覧

別紙

	研究課題	実習内容	受入部署(予定)	受入可能時期	実習形式	実習に係る経費 (府省内での実習 交通費を除く)	受入人数
課題 1	国の行政管理・評価、統計にかかる政策に関する行政実務	総務省では、行政の組織・業務のあり方を変革し、国家行政の基盤をかたちづくる仕事をしています。 行政運営の透明性・信頼性・効率性の確保のため、政策評価・調査・行政相談、業務改革・働き方改革、行政通則法の運用、客観的な政策決定の基礎となる公的統計の整備・データ利活用など、幅広い分野を扱い、これからの行政のマネジメントを共に考えます。 今回のインターンシップでは、実際に各担当部局の一員となって政策の最前線に参加していただきます。	行政管理局、行政評価局、統計局、政策統括官(統計制度担当)室(応募書類の内容(興味・関心)より調整)	2025年7月22日(火)～9月12日(金)のうち3～5日間	実務部署での受入型	外部施設見学等を行う場合は適宜自己負担頂く可能性があります。	120名程度 ※昨年度受入実績:125名
課題 2	地方自治行政に関する行政実務	総務省では、国と地域の在り方を変革し、未来の日本をかたちづくる仕事をしています。 人口減少・少子高齢化社会を見据えた統治機構改革や地域活性化策の立案、地方を支える自治体の財政的、税制的な面での制度の構築、近年頻発する各種災害に即応できる消防防災体制の強化などを通じて地方自治行政の根幹を支えています。 今回のインターンシップでは、実際に各担当部局の一員となって政策の最前線に参加していただきます。	自治行政局、自治財政局、自治税務局、消防庁(応募書類の内容(興味・関心)より調整)				
課題 3	デジタル産業・情報通信技術にかかる政策に関する行政実務	総務省では、情報通信基盤の整備や情報空間のアップデート、ICTの利活用を通じて、強靱かつ健全なデータ流通社会をかたちづくる仕事をしています。 その仕事は、日本全国におけるインターネット環境整備や5Gの推進、ICT利活用(5Gを活用した社会課題の解決)政策、誰もがICTを活用できるための支援、新たな情報通信技術戦略の策定、Beyond 5GをはじめとするICT研究開発の推進、ICTインフラの海外展開や経済安全保障・AIに関する国際的議論などの国際戦略、サイバーセキュリティ対策、放送サービスの将来像の検討など、多岐にわたります。 今回のインターンシップでは、実際に各担当部局の一員となって政策の最前線に参加していただきます。	国際戦略局、情報流通行政局、総合通信基盤局、サイバーセキュリティ統括官室(応募書類の内容(興味・関心)より調整)				